

25) 放射線科

1. 診療体制と患者構成

1) 診療科スタッフ（講師以上）

似鳥 俊明（教授、診療科長）

高山 誠（教授）

横山 健一（助教授）

戸成 綾子（講師）

片瀬 七郎（学内講師）

2) 常勤医師数、非常勤医師数

常勤医師 15名

非常勤医師 12名

大学院生 1名

3) 専門医または認定医

日本放射線科専門医 22名

IVR（Interventional radiology）指導医 3名

日本放射線腫瘍学会専門医 2名

マンモグラフィ精中委認定マンモグラフィ読影医 12名

4) 外来診療の実績

当科は診断部と治療部に分かれており、診断部ではCT、MRI、IVRなど幅広く検査を担当、読影業務をこなしている。治療部においては院内外問わず全て外来にて各種腫瘍性病変を主体として随時治療手技を施行している。治療部においては院内・外を問わず、全て外来形式で治療を実施している。対象疾患は良性悪性問わず多岐にわたるが、積極的に治療を実施している。

診療内容の実績をそれぞれ以下に示す。

<放射線診断部>

- ・放射線科外来および入院患者検査件数

放射線部（P247）を参照。

- ・主たる読影対象である胸腹部単純写真、マンモグラフィ、消化管造影、CT、MRI、各医学検査の検査件数を別表1に示す。

- ・平成26年度のIVR件数を別表2に示す。

- ・地域医療連携を通じ地域の様々な施設の検査、画像診断を担っている。平成26年度の地域医療連携経由放射線科外来受診件数は10,514件である。

<放射線治療部>

平成26年度に放射線治療を実施した患者はのべ13,507名、うち新規患者数454名（再診を含めると506名）である。

5) 入院診療の実績

入院設備はない。

2. 先進医療への取り組み

<診断部>

- ・バルーンカテーテルによる血流コントロール併用手術療法

癒着胎盤のある妊婦の帝王切開や、high flow typeの巨大血管奇形では外科的処置中に大量出血が予測されかなりの危険を伴う。あらかじめ腹部大動脈や両側総腸骨動脈にバルーンカテーテルを留置しておき、バルーンカテーテルで術中に血流量をコントロールすることで出血量減少が期待できる。

平成26年度、当科においては巨大血管腫の一症例で複数回施行された。

- ・産後出血の子宮動脈塞栓術

大量出血で生命的危機に面した産後出血に対して、止血目的で子宮動脈など骨盤内動脈を超選択的に塞栓する手技。外科的処置より低侵襲で子宮の温存が可能であり、合併症の頻度も低い。当科では夜間や休日でも可能な限り対応している。平成26年度の施行件数は5件である。

<治療部>

- ①術中照射IORT：医療用直線加速器を用いて手術と同時に照射を行う 1名
- ②全身照射TBI：血液移植を行う患者に対し照射を行う 20名
- ③定位放射線照射SRS, SRT：中枢神経疾患や体幹部小病変に対してピンポイント照射を行う 7名
- ④強度変調放射線照射IMRT, VMAT：病変の形態大きさを詳細に再現し放射線の強さ、範囲を変調して照射を行う 56名
- ⑤高線量率腔内照射RALS：密封小線源を用いて照射を行う 19名
- ⑥小線源組織内照射Brachytherapy：ヨウ素125線源を用いた前立腺癌の治療 4名
- ⑦放射性同位元素内用療法：ストロンチウム89元素を用いた骨転移疼痛緩和治療 3名

3. 低侵襲医療の実施項目と実施例数

- ①強度変調放射線照射IMRT, VMAT：病変の形態大きさを詳細に再現し放射線の強さ、範囲を変調して照射を行う 56名

4. 地域への貢献

- ・地域医療連携を通じて地域の様々な施設の検査、画像診断または治療を担っている。
- ・開業医を対象に不定期に画像診断の講義を実施し、地域の医療教育をサポートしている。
- ・多摩地区を中心に医療レベル向上を目的として以下の研究会・講演会活動を年一回ずつ主催している。

- 多摩画像医学カンファレンス
- 東京MRI研究会
- 多摩MRI学術セミナー
- 吉祥寺画像診断セミナー
- 吉祥寺セミナー "散乱線"
- Cardiac MDCT and MRI セミナー
- 多摩IVRセミナー
- 研修医のための画像診断セミナー

表1 読影対象検査数の推移

検査	部位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
単純X線検査	胸部	59,443	58,213	60,606
	腹部	20,071	20,356	20,378
乳房	マンモグラフィー	3,526	3,615	3,533
血管撮影	心臓大血管	991	1,480	1,387
	脳血管	307	361	344
	腹部、四肢	345	365	372
	IVR	895	1,218	1,095
	小計	2,538	3,424	3,198
透視撮影	消化管	1,870	1,935	1,651
CT	頭頸部	19,391	19,428	19,618
	体幹部四肢その他	31,317	30,396	31,388
	冠動脈CT	1,071	722	607
	小計	51,779	50,546	51,613
MRI	中枢神経系及び頭頸部	13,743	11,180	13,977
	体幹部四肢その他	5,754	8,953	5,769
	心臓MRI	324	304	313
	小計	19,821	20,437	20,059
核医学検査	骨	1,409	1,409	1,153
	腫瘍	166	166	124
	脳血流	948	1,011	1,027
	心筋	772	833	699
	心血管	0	0	0
	その他	228	300	236
	小計	3,523	3,719	3,239

表2 平成26年度のIVR手技内容と件数一覧

手 技	件数
肝細胞癌のTACE	67
肝細胞癌のTAI	15
消化管出血のTAE	7
気管支動脈塞栓術 (BAE)	4
消化管出血のTAE	7
産科出血のTAE	5
子宮頸癌の動注療法	1
脾動脈瘤のTAE	2
内臓動脈瘤のTAE	3
後腹膜出血のTAE	4
骨腫瘍に対する術前TAE	3
内腸骨動脈瘤のTAE	1
消化管出血のTAE	7
その他のTAE	8
NOMIに対する塩酸パバペリン動注	2
バルーン閉塞下での血管奇形手術	1
血管内異物除去	2
副腎静脈サンプリング	14
全身静脈サンプリング	1
下大静脈フィルター留置	14
下大静脈フィルター抜去	3
上大静脈ステント留置	1
バルーン閉塞下逆行性経静脈塞栓術 (BRTO)	2
肝内胆管癌の術前門脈塞栓術	2
門脈狭窄に対する門脈ステント留置	2
CTガイド下生検	27
CTガイド下ドレナージ	10
透析シャント狭窄のPTA	2
門脈塞栓術	2
CTガイド下生検	19
CTガイド下ドレナージ	18